

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2017年度 助成者)

作成日 2017年 8月 21日

氏名 (フリガナ)	長嶋 愛 (ナガシマ アイ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2017年8月14日 (月) ~ 8月19日 (土)
大学名	愛知医科大学
学年	5年生

今回は、医学部夏期集中医学英語研修の助成メンバーに選出していただき、誠にありがとうございました。ハワイでしか体験できないことが多く盛り込まれた5日間の研修は毎日が充実していて、あっという間に過ぎてしまいました。

日本では、なかなか **Native speaker** の医師の講義・アドバイスを受ける機会がありませんでしたが、今回の研修では3日間午前中に **Native speaker** の医師からの講義・アドバイスを受けることができました。具体的には、**history taking** の系統だったやり方や、**presentation** の系統だったやり方、好ましい姿勢・間の取り方や、医療英語の発音・表現方法について、知ることができました。私たちが慣れていなかったため **presentation** の1例や要点を **power point** ・ **word** で共有させてくださったり、講義時間が少し余った場合は私たちの希望に合わせた **mini lecture** を取り入れようとしてくださったり、とても教育熱心な体制でした。

また、3日間夕方から現地の医学生に **history taking** をして、1人ずつ先生方に **presentation** していくことはとても良い練習になりました。まず、現地の医学生は優秀で、私が **history taking** の質を向上させるために、「他に何を聞くべきなのか」「どのような聞き方があるのか」といった質問をすると、具体的にアドバイスをくださり、とても勉強になりました。また、現地の医学生がどのように過ごしているのかについても伺うことができ、日米の交流もできました。先生方への **presentation** では、初日はとても緊張しましたが、最終的には緊張せず、落ち着いて、抑揚をつけながら **presentation** ができるようになりました。これは、日々の **presentation** 後に先生方が的確なアドバイスをしてく下さり、そのアドバイスを1つずつその後の **presentation** に反映させることができたからだと思います。

研修中には、病院・施設見学もさせていただき、ハワイの医療や教育について実際に見て、触れることができ、とても興味深い経験でした。

また、様々な機会にハワイで働く日本人の先生方のお話を伺うことができ、**presentation** の要点や、日米の医療の違いやこれからの医学教育について深く知ることができました。

また、研修中は寮や講義、**Workshop** で様々なグループに分けられ、他の参加者の方々と多く知り合い、話す機会がありました。他の参加者の方々は、とても優秀で刺激を受けました。全国の15の大学から様々な考え・志を持った医学生が集まり、同じ目標に向かって切磋琢磨できたことはとても良い経験となりました。特に、**Medical Ethics** では、答えのない医療倫理的問題にどう対応していくかを、英語で意見を言い合いました。英語で自分の意見を表現することは、今まで馴染みがなくとても難しかったですが、他の参加者の方から新しい視点・考え方を見出すこともできました。

以上のように、5日間の研修でとても濃厚な時間を過ごすことができました。5日間指導してく下さった先生方や、サポートしてく下さったスタッフの方々には感謝してもしきれません。今回の研修はこれからの臨床実習、さらには医師人生を通して必ずや生き続けると思います。まずは今回の経験を、私が今年の冬に行うポーランドでの臨床実習で活用していきたいと思っています。このような素晴らしい機会をいただき、誠にありがとうございました。